

平成 3 0 年 度  
事業計画並びに収入支出予算

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会

# 目 次

平成 30 年度事業計画	1
平成 30 年度法人（全体）収入支出予算	13
平成 30 年度事業（拠点・サービス）区分予算額一覧表	14
平成 30 年度社会福祉事業区分収支予算	20
平成 30 年度地域福祉活動推進事業拠点区分及び サービス区分収支予算	25
平成 30 年度障害者支援事業拠点区分及び サービス区分収支予算	70
平成 30 年度公益事業区分収支予算	81
平成 30 年度老人福祉センター管理事業拠点区分及び サービス区分収支予算	84

# 平成30年度 社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会 事業計画

茅ヶ崎市社会福祉協議会（以下「市社協」）は、平成26年度に「第5次茅ヶ崎市地域福祉活動計画」を「第3期茅ヶ崎市地域福祉計画」（市行政計画）と初めて一体化し『みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン』（平成27年度～平成32年度）として策定し、住民、福祉活動団体、福祉関係機関及び行政等と協働してその推進を図っています。そして、平成29年度に市社協と市にて一体的に中間評価を行いました。

平成30年度は、その中間評価結果に基づき、現行の計画の枠組みにおいての5つのキーワード【※別掲】に関連する取り組みの充実を図るとともに、引き続き、次の重点的な取り組みに関連する市社協事業の推進及び地域福祉活動の支援を、茅ヶ崎市及び地区社会福祉協議会など関係機関・関係団体と連携して重点的に推進していきます。

## 【※別掲キーワード】

- 1 周知・啓発
- 2 担い手不足
- 3 つながりづくり、居場所づくり
- 4 はざ間・複合課題への取り組み
- 5 連携強化

『みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン』の4つの重点的な取り組み

重点1 コーディネーター配置事業の展開

重点2 福祉相談室の充実（市）

重点3 ミニデイ・サロンの開催推進

重点4 福祉教育プログラムの活用・開発

上記のほか、次の事業を平成30年度の重点事業とします。

- 1 市（高齢福祉介護課）から新規受託事業である生活支援体制整備事業の推進（新規事業）
- 2 市社協の事業展開や法人運営の基盤整備・改善計画である『第2次茅ヶ崎市社協 発展・強化計画』（計画期間：平成27～30年度）の進行管理と改定

「みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン」  
第5次茅ヶ崎市地域福祉活動計画（平成27年度～平成32年度）の「9つの行動目標」と「行動目標を実現するためにみんなで行う具体的な取り組み」

- (1) 福祉の情報を広く発信し合おう
  - 様々な媒体を活用した情報発信
  - 伝わりやすさに配慮した情報提供
- (2) お互いを理解し合い、思いやりの心を広げよう
  - 様々な手法による福祉への理解促進
  - 様々な方を対象とした福祉教育の推進 ★（重点4関連）
- (3) 日ごろから地域でのつながりを強くしよう
  - 地区のつながりづくり
  - 防災・防犯・交通安全対策の強化
- (4) 地域 みんなが気軽に集える場を広めよう
  - 身近な居場所づくりの推進 ★（重点3関連）
  - 地域福祉活動拠点の充実
- (5) できることを活かして福祉活動に参加しよう
  - ボランティア活動のきっかけづくり
  - 安心してボランティア活動をするための環境づくり
- (6) 福祉活動にかかわる人たちを育てよう
  - 地域福祉の担い手の学習機会の充実
  - 福祉専門職のスキルアップに向けた取り組み
- (7) 誰もが地域に出やすい環境をつくろう
  - バリアフリーの環境づくり
  - 社会参加のための支援の充実
- (8) みんなで困りごとを受け止め、安心につなげよう
  - 身近なところで支え合える相談体制づくり ★（重点2関連）
  - 身近な生活課題にこたえるサービスや支援の充実
- (9) 制度のはざまの課題に取り組もう
  - 課題解決のための連携強化 ★（重点1関連）
  - 新たな課題への取り組み

★：重点的な取り組み関連（前頁参照）

なお、平成30年度市社協事業計画の詳細については、次のとおりです。

平成30年度茅ヶ崎市社会福祉協議会事業計画

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
<p>1 法人運営事業 (予算額130,082千円) (前年度115,683千円)</p>	<p>(1) 事務局運営事業</p> <p>① 第2次茅ヶ崎市社協発展・強化計画の推進と改定</p> <p>茅ヶ崎市社協の事業展開、法人運営の方向性及び経営課題を明確にし、その実現と改善に向けた事業及び組織体制を検討するための経営戦略計画である第2次茅ヶ崎市社協・発展強化計画を推進し、組織運営基盤強化を図る。さらに、その充実を図るための改定作業を行う。</p> <p>② 車椅子・福祉用具・備品の貸与</p> <p>車椅子等を障害者や高齢者等に貸与し、日常生活を支援する。</p> <p>③ 災害ボランティア活動の支援</p> <p>ア 災害ボランティアセンター設置運営訓練を市と協働で実施し、課題の抽出と対応策の検討を行う。</p> <p>イ 災害支援ボランティアとの連携を図る。</p> <p>(2) 基金事業</p> <p>① 市社協会員の募集</p> <p>平成27年度～平成28年度に実施した、市社協発展・強化計画推進委員会 会員制度等見直し検討委員会の検討結果を踏まえ、会費使途説明を拡充し地域住民全体に向けた周知を図る。</p> <p>会員760件を指標とする。(平成30年2月末現在:786件)</p> <p>② 寄附金の受入れ</p> <p>市民、法人及び団体等からの寄附金の受入れを行う。使途も含め、より分かりやすい広報に努める。</p> <p>年間78件、2,850千円を指標とする。 (平成30年1月末現在:63件・4,874,915円)</p> <p>(3) 広報紙発行事業</p> <p>① 広報紙「社協ちがさき」の発行</p> <p>市社協の活動や、市社協に寄せられた情報を広く市民に提供し、社会福祉事業の普及・広報を行うため、年3回発行し各戸・公共施設・会員等に配布する。</p> <p>また、「みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン(第3期茅ヶ崎市地域福祉計画・第5次茅ヶ崎市地域福祉活動計</p>	<p>(9)</p> <p>(5)(7)</p> <p>(3)(5)</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(1)</p>

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>画)」の行動目標1「福祉の情報を広く発信し合おう」を推進するため紙面を見やすく、わかりやすく、手にとってもらえるように工夫する。</p> <p>なお、広告掲載料を広報紙発行事業の財源の一部に充てる。</p> <p>広告枠として、年間12枠全てを埋める(100%)ことを指標とする。(平成29年度実績12枠、100%)</p> <p>② ホームページ更新及び最新版「市社協パンフレット」配布</p> <p>ホームページの内容を興味を持ってもらえるよう工夫・充実するとともに、逐次内容を更新することにより、地域住民や関係機関・団体に必要かつタイムリーな情報を提供する。</p> <p>ホームページの閲覧数について、1日90カウントを指標とする。(平成29年12月末現在:1日77件)</p> <p>市社協事業の周知、活動への理解を深めるため、最新版のパンフレットを配布する。</p> <p>(4) 社会福祉大会事業</p> <p>第39回茅ヶ崎市社会福祉大会の開催</p> <p>社会福祉の啓発を目的にしたイベントと社会福祉に貢献された方々への表彰式典を合わせて、第39回茅ヶ崎市社会福祉大会を開催する。</p> <p>また、社会福祉への理解促進を図るために、「第38回ボランティアまつり・福祉バザー」(後述)を茅ヶ崎ボランティア連絡会と共催で同日開催する。</p>	<p>(1)</p> <p>(1)(2)</p>
<p>2 育成支援事業 (予算額12,130千円) (前年度12,108千円)</p>	<p>(1) 連絡会育成支援事業</p> <p>小地域福祉活動の中心である地区社協と、地区社協が立ち上げて運営するミニデイ・サロン、地区社協連絡協議会、民生委員児童委員協議会の研修及び地域作業所連絡会の開催を支援することにより、地域住民相互協力による福祉活動を支援し、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、ミニデイ・サロン連絡会及び茅ヶ崎市・寒川町の障害児者の余暇支援活動に取り組む余暇支援ネットワーク会議の開催を支援する。</p> <p>ミニデイ・サロンについては、地域住民の集いの場、交流の場として年間3ヶ所の増を指標とする。【重点的な取り組み】(平成30年2月末現在1ヶ所増で合計108ヶ所)</p> <p>地区社協への情報提供と活動の支援</p> <p>① 総合相談等で把握された地域の福祉課題等を地区担当職員が情報提供するとともに、地区福祉活動を支援する。</p>	<p>(3)(4)(5)</p>

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>② 地区社協連絡協議会の事務局として、連絡協議会の事業の企画や研修等の支援のほか、市社協の事業運営方針等の情報提供を行う。</p> <p>(2) 親の会等育成支援事業</p> <p>当事者団体の自主的な体験学習や福祉交流会の充実を図り、地域福祉の一助とするために助成を行う。</p> <p>(3) ボランティアグループ等助成事業</p> <p>ボランティアグループへの助成</p> <p>ボランティアグループの自主的な学習や活動の充実を図り、地域福祉の一助とするため助成する。</p> <p>(4) 高齢者福祉事業</p> <p>① 認知症高齢者支えあい事業</p> <p>ア 市民を対象とした認知症への理解を進める講座等を実施するとともに、全国で展開している「認知症サポーター100万人キャラバン」の普及・啓発を地域や学校等に出向き実施し、サポーターの輪を広げる。</p> <p>イ SOSネットワーク連絡協議会に参加し、徘徊高齢者捜索に協力する。</p> <p>ウ 認知症家族会の自主的な活動を支援する。</p> <p>② 茅ヶ崎市介護保険認定審査会に参加する。</p> <p>③ (社)かながわ住まい・まちづくり協会の高齢者の住まい探し相談会への支援を行う。</p>	<p>(2)(5)(7)</p> <p>(5)</p> <p>(2)(3)(7)</p>
<p>3 調査研究事業 (予算額698千円) (前年度921千円)</p>	<p>(1) 地域福祉活動計画推進委員会事業</p> <p>① 第5次活動計画の取り組みの推進及び進行管理</p> <p>市計画と一体化して策定した「みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン(第5次茅ヶ崎市地域福祉活動計画)」について、昨年度に行った中間評価を踏まえ、地域福祉活動計画推進委員会担当職員を中心として取り組みを推進する。さらに、その進捗状況を確認し、進行管理を行うため、地域福祉活動計画推進委員会を開催する。(一部、市と合同開催)</p> <p>② 活動計画の具体的な取り組みに関連した取り組みの企画と活動への支援</p> <p>第5次活動計画の実現に向けて、計画に関連する新たな事業の企画実施や、計画に関連して地区社協を中心に行う地域福祉活動を支援する。</p>	<p>全行動目標</p>

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
4 ボランティアセンター事業 (予算額1,658千円) (前年度1,987千円)	<p>(1) ボランティアセンター運営事業</p> <p>① ボランティアセンター運営委員会の開催</p> <p>ボランティアセンターの適正な運営を図るため、ボランティアセンターの運営に係る課題等について検討する。</p> <p>② ボランティア相談・コーディネートの実施</p> <p>新規登録ボランティアの年間50人増を指標とする。 (平成30年2月末現在38人増、平成28年度実績計318人)</p> <p>(2) ボランティアまつり</p> <p>第38回ボランティアまつり・福祉バザーの開催</p> <p>ボランティア活動の普及・啓発、社会福祉への理解促進を目的として、茅ヶ崎ボランティア連絡会と共催で第39回茅ヶ崎市社会福祉大会と同日開催する。</p> <p>(3) ボランティア情報紙</p> <p>ボランティア情報紙「OPEN THE DOOR」、「ボランティアセンターだより」の発行</p> <p>① ボランティアによる支援を呼び掛け、より活発なボランティア活動を推進することを目的とした情報紙「OPEN THE DOOR」を発行する。 (毎月1,000部、施設編は四半期ごとに1,000部)</p> <p>② ボランティアセンターの活動を紹介する「ボランティアセンターだより」を発行する。</p> <p>(4) ボランティア講座</p> <p>活動者へのフォローアップ講座を開催し、自己の活動を振り返り新たな活動への意欲を深める。また、ボランティアセンターに寄せられる課題に応じて講座を開催する。</p> <p>(5) ボランティア大学</p> <p>新たなボランティアの発掘と活動への理解を促進するために、ボランティア活動の基本的な考え方や基礎的技術(介護・録音・手話・誘導・展示等)体験、活動者や当事者による講話等を内容として、茅ヶ崎ボランティア連絡会と共催でボランティア大学を開催し、希望者に選択コースを開催する。 また、ボランティア大学修了生を対象に、交流、情報交換及び継続学習を目的としてボランティア大学学習会コースを開催する。</p> <p>(6) 福祉教育の推進／出前講座の実施【重点的な取り組み】</p>	<p>(5)(6)(8)</p> <p>(1)(2)(5)</p> <p>(1)(2) (5)(7)</p> <p>(2)(5)</p> <p>(2)(5)</p> <p>(2)(5)</p>



事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>① ボランティアグループや当事者団体等の協力を得ながら、学校・地域や企業等に出向いて各種福祉講座を開催し、福祉体験学習を若年層(小・中学校)や幅広い年齢層(地域・企業)に対し実施することにより、福祉意識の醸成やボランティア理念の啓発普及に努める。</p> <p>出前講座については、年間新規2ヶ所(団体)増を指標とする。(平成30年2月末現在新規10ヶ所増)</p> <p>② 福祉教育に関わっているボランティア・当事者と学校の教員との相互理解と、福祉教育に関する共通理解を図るため、福祉教育研修会を開催する。</p> <p>③ 福祉教育プログラム集を活用した出前講座の開催や普及に努めるとともに、福祉教育プログラム集の拡充を図る。</p> <p>(7) ユースボランティア茅ヶ崎</p> <p>中学・高校・専門学校・短大生・大学生を対象に、青少年のボランティア活動が一人ひとりの興味・関心から出発して自分なりの選択ができる青少年の育成を目指して、市民活動サポートセンターと共催で開催する。</p> <p>(8) 夏休みおやこ手話教室の開催</p> <p>児童・生徒と福祉との出会いを広げ、障害者への理解とボランティア活動参加へのきっかけとなるよう、学校の夏休みに市内在住の小・中学生を対象にボランティアによる手話指導教室を開催する。</p> <p>(9) 障害者週間街頭キャンペーン活動</p> <p>12月3日から9日までの障害者週間に、障害者の自立と社会参加の促進、市民の障害者への理解を深めるため障害者地域活動支援センター(旧障害者地域作業所)の作品やパンフレットを配布し、障害者による演奏・パネル展示による広報等の街頭活動を行う。</p>	<p>(2)(5)</p> <p>(2)(5)</p> <p>(1)(2)(4) (6)(7)</p>
<p>5 法外援護事業 (予算額1,930千円) (前年度1,899千円)</p>	<p>(1) 災害援護事業</p> <p>一般募金配分金(共同募金)を財源として、災害見舞金等を罹災世帯に支給し、罹災世帯を見舞う。</p> <p>(2) 要援護者援護事業</p> <p>① 要援護世帯の小・中学生修学旅行支度金及び入学祝金を支給し、福祉の増進を図る。</p> <p>② 行旅人に旅費を支給し、福祉の増進を図る。</p> <p>③ 行旅病人に日用品を支給し、福祉の増進を図る。</p>	<p>(9)</p> <p>(9)</p>



事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>③教育支援資金(教育支援費、就学支度費)</p> <p>④不動産担保型生活資金(不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金)</p> <p>市が行う生活困窮者自立相談支援事業との連携により、生活困窮者の早期生活自立を支援する。</p> <p>小口生活資金貸付事業含めて、相談件数年間12件増を指標とする。(平成30年2月末現在、年間、1,171件)</p>	
<p>9 小口生活資金貸付事業 (予算額5,001千円) (前年度5,407千円)</p>	<p>(1) 小口生活資金貸付事業 (2) 小口生活資金貸付事業(生活保護申請中)</p> <p>一時的に生活に困窮している市内の世帯に対し、小口生活資金の貸し付けを行い、対象者の経済的自立と生活意欲の助長を図る。 市が行う生活困窮者自立相談支援事業との連携により、生活困窮者の早期生活自立を支援する。(再掲)</p> <p>生活福祉資金貸付事業含めて、相談件数年間12件増を指標とする。(再掲)</p>	<p>(8)(9)</p>
<p>10 地域福祉活動支援事業 (予算額19,171千円) (前年度18,576千円)</p>	<p>(1) 地域福祉活動支援事業(市福祉政策課委託事業)</p> <p>地域住民の主体的な参加と相互支援による身近な場での支え合いのしくみづくりを目指し、市社協の展開する地域福祉活動のほか様々な事業と連携した取り組みを推進する。</p> <p>① 地区ボランティアセンターの支援</p> <p>地区の支援機関・団体・施設やボランティア等の力と、支援を必要とする人をつなぐ拠点として、また、地区の困りごと等を気軽に持ち込める住民同士の身近な相談窓口として、地区ボランティアセンターを活用した地区活動を支援する。 また、地区ボランティアセンター相互の情報交換及び資質向上のため、地区ボランティアセンター連絡会を開催する。(年2回)</p> <p>② 地域福祉活動を担う人材の育成</p> <p>各地区における地域福祉活動の担い手の高齢化等に伴い、地区社協を中心として関係機関・ボランティア等と連携してボランティア養成講座を開催し、新たな活動者の発掘・育成を行う。</p> <p>地区ボランティアセンター新規登録者24人増を指標とする。 (平成28年度実績 新規登録60人増、活動登録者729人)</p> <p>また、地区での福祉活動をけん引する人材の育成を目指し、「地域福祉の担い手育成推進委員会」を開催する。</p>	<p>(2)(4)(5) (6)(8)(9)</p>

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>「地域福祉の担い手」となる新規修了者24人を指標とする。 (平成30年2月末現在22人修了)</p> <p>③ 茅ヶ崎市コーディネーター配置事業の推進 【重点的な取り組み】</p> <p>地区での相談支援事業を中心としたコーディネーター配置事業について、地区担当がコミュニティソーシャルワーカー(CSW)として地区支援チームに中心的に参加し、取り組みを進める。 現在実施している4地区(浜須賀地区・湘北地区・湘南地区・小和田地区)の成果や課題を踏まえ、事業効果や情報の提供を行い、市内の他地区への活動の普及を図る。</p> <p>年度内4地区増の実施を指標とする。(平成29年度は1地区増)</p> <p>④ 住み慣れたまちの地域福祉を考える地区懇談会の開催支援</p> <p>課題を共有し合い、より住みよい地域にしていくための地区懇談会の開催を支援する。</p>	
<p>11 生活支援体制整備事業 (予算額11,001千円) (前年度 0千円)</p>	<p>(1) 生活支援体制整備事業(市高齢福祉介護課委託事業)</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、日常的な困りごとへの支援ニーズに対する多様な生活サービスの充実に向けた地域づくりを支援する。</p>	<p>(3)(4)(5) (6)(7)(8) (9)</p>
<p>12 ハンディキャブ運行事業 (予算額1,070千円) (前年度1,016千円)</p>	<p>(1) ハンディキャブ運行事業(市障害福祉課委託事業及び福祉有償運送事業)</p> <p>一般の公共交通機関を利用しての外出が困難な市内の方を対象に、ボランティアの協力により4台の福祉車両(車椅子仕様)で送迎サービスを実施する。</p> <p>新規送迎ボランティアの年間3人増を指標とする。 (平成30年2月26日現在10人増、計34人) 運行回数年間2回増を指標とする。 (平成28年度実績765件)</p>	<p>(5)(7)(9)</p>
<p>13 障害者生活支援センター事業 (予算額15,903千円) (前年度15,207千円)</p>	<p>(1) 障害者生活支援センター事業(市障害福祉課委託事業)</p> <p>(2) 生活支援事業(自発的活動支援事業)</p> <p>自立や社会参加を目指す障害児者やその家族を対象に、関係機関・団体と連携し、総合相談やサービス利用調整、イベント・講座の開催等を実施し、障害児者やその家族の生活を支援する。</p> <p>相談件数の年間12件増を指標とする。 (平成28年度実績874件増、3,470件)</p>	<p>全行動目標</p>

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>① 総合相談</p> <p>② ピア(同じ障害や課題を持つ人による)カウンセリング</p> <p>③ 専門援助相談(住宅改修・理学療法)</p> <p>④ 障害者福祉サービスの利用支援</p> <p>⑤ 個別ケース検討会の開催</p> <p>⑥ 障害福祉に関する情報の提供</p> <p>⑦ 障害福祉に関する講座や研修会等の企画・開催</p> <p>⑧ 障害児者の余暇支援や介護者のレスパイトを目的とした、各種教室やフリースペース・イベントの開催</p> <p>⑨ 精神保健ボランティア推進委員会の運営及び精神保健ボランティア講座の開催(ボランティアセンターとの共同事業)ほか</p> <p>⑩ 市自立支援協議会、市障害者保健福祉計画推進委員会への参画</p> <p>⑪ 障害支援区分認定調査</p> <p>⑫ 障害児者のためのSOSネットワーク連絡協議会に参加</p> <p>(3) 指定特定相談支援事業(市が事業所指定)</p> <p>(4) 指定障害児相談支援事業(市が事業所指定)</p> <p>(5) 指定一般相談支援事業(県が事業所指定)</p> <p>指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業(市が事業所指定)及び指定一般相談支援(地域移行支援)事業(県が事業所指定)の事業所指定を受け、サービス利用計画の作成・モニタリング・相談支援を実施する。</p> <p>計画作成年間12件増を指標とする。 (平成29年12月末現在52件)</p>	<p>(1)(2)(4)(6) (7)(8)(9)</p>
<p>14 障害者ホームヘルプ事業 (予算額36,779千円) (前年度39,243千円)</p>	<p>(1) 障害者ホームヘルプ事業</p> <p>指定事業者として、障害者総合支援制度の居宅介護事業である身体介護・家事援助・重度生活支援・同行援護及び地域生活支援事業である移動支援を実施し、身体的・精神的障害児(者)を対象に訪問介護員を派遣し生活を支援する。</p> <p>また、事業所の登録ヘルパーの研修や個別ケース検討会議を行い、ヘルパーの質の向上を図る。</p> <p>サービス提供時間の年間30時間増を指標とする。 (平成28年度実績 549.35時間増、年間12,392時間)</p>	<p>(7)(8)(9)</p>

事業項目・予算書サービス区分名 (事業活動支出合計額)	計 画 内 容	活動計画「9 つの行動目 標」との関連
	<p>(2) 犯罪被害者等支援事業(市民相談課委託事業)</p> <p>茅ヶ崎市犯罪被害者等支援条例に係る市との委託契約により、犯罪被害者やその家族又は遺族に対する家事・介護支援業務に関するホームヘルパーを派遣する。</p>	(9)
<p>15 老人福祉センター管理 事業(公益事業) (予算額7,947千円) (前年度7,703千円)</p>	<p>(1) 老人福祉センター管理事業(市高齢福祉介護課指定 管理事業)</p> <p>茅ヶ崎市老人福祉センターの指定管理者として、2期目2年 目(計6年目)の管理運営(会議室・備品の貸出し、自主事業 及び交流事業等の企画・実施)を行う。</p> <p>年間利用者数112,000人を指標とする。 (平成30年1月末現在:87,925人)</p>	(4)